録画動画を利用した授業の進め方

熊本北高校 SSH 研究部

本校では外部コンテストも利用した自宅学習について準備を進めています。その中で、コロナウイルス収束後の通常授業との接続を見据え、録画動画を利用した授業も一部配信しています。

今回は、SS 生物の実践例を紹介します。SS 生物は、全授業をアクティブ・ラーニング型で行っています。普段の生徒の活動は次のようになっています。

【活動の流れ】

① 本時の目標を確認する。
② ＫＰ法（紙芝居プレゼンテーション法）による解説を聞く。
③ 教科書を読み取り内容を理解する。
④ 語句や内容を互いに説明しあう。プリントの問いを一緒に考える。
⑤ 発展問題や確認問題を解いて、答えを共有したり、確認したりする。
⑥ 記述による振り返りを行う。

教師による解説は焦点を絞った最小限のものに留め、生徒の活動時間を確保することとで、生徒自身が教科書を読み取り理解し、主体的に知識を構築していくことを意図しています。記述による振り返りは、生物基礎の範囲では教師から示された語句をいくつか利用しまとめをしていきますが、生物の範囲では自ら重要語句を選択します。

録画動画では、生徒間のやり取りは行えませんが、次のようにアレンジをすることで、通常の方法に沿って授業を進めることができます。

【録画動画を利用する際の工夫】

① 本時の目標の確認する
…通常と同様に紹介する。まとめをする際に再度伝える。

② ＫＰ法による解説を聞く。
…オンライン会議システム Zoom を利用し、スライドを共有する。
通常授業時に作成したＫＰ用シートを用いて解説する。ただし、適宜

スライドを追加し丁寧な説明を行う。

③　教科書を読み取り内容を理解する。

…タイムキープを動画内で行い、教科書を理解する時間を取る。ここについては、それぞれの理解度に応じて早送りしたり、一時停止したりして良いことを伝える。

④　語句や内容を互いに説明しあう。プリントの問いも一緒に考える。

…動画上で生徒に向けて質問し、答えを話す時間を設ける。その後、抑えるべきポイントを伝え、即座にフィードバックを与える。

⑤　発展問題や確認問題を解いて、答えを共有したり、確認したりする。

…発展問題で複数解答例があるものについては、過去の先輩の例を幾つか紹介する。いわゆる演習型の確認問題は、通常通り黒板等で解説している様子を撮影する。

⑥　記述による振り返りを行う。

…通常と同様に実施する。

本校では、登校日にプリントを回収することで、生徒の理解度や活動状況を評価しています。教科内でプリントを共有し教材開発を進めていたため、学年が上がり、担当教員が変わっても通常授業をイメージしながら学習を進めることができているようです。

なお、普段通り授業をしている様子をスマホ等で録画し、配信する方法でも簡単に動画を共有することができます。また、Zoom を利用した録画の方法を利用した場合には、リアルタイムでの生徒とのオンライン授業を実施する際に、ほとんど同じ流れを使えるため、スムーズ移行することができます。